

福島県環境教育等行動計画の進行管理に対する事前意見と対応案

No.	項目	ページ	意見等	対応案	委員名	担当課室等
1	全般	—	○ 各方面、特に学校などで新型コロナウイルス感染症拡大の影響による中止が報告されているが、アクアマリンふくしまの取り組みのようにオンライン活用が社会の各方面で活発化しているのだから、他の機関も機敏に対応して環境教育が停滞しないよう、御努力を期待したい。	○ 御意見について、コロナ禍においても環境学習の機会が失われないよう、オンライン等を活用した学習機会の充実にも引き続き取り組んでまいります。	小野委員	生活環境総務課
2	全般	—	○ 全体として、様々な事業を行っているが、各事業を行うことによってどれくらい理解が進んでいるかといった指標が乏しく、政策の効果の把握が難しいように思う。	○ 御意見を踏まえ、既存のアンケート調査等、活用可能な調査を把握しながら、当計画に基づく事業の効果の確認に向けた指標の設定について、検討してまいります。	沼田委員	生活環境総務課
3	2学校における環境教育等	4 No17	○ 福島県環境教育副読本「ふくしまのかんきょう」のごみとリサイクルの章について、内容がどちらかというと身近な生活系廃棄物が中心になっていますので、もう少し産業廃棄物の充実も図っていく必要があると思います。 ○ 人が生活を営むために必要な産業活動において排出される産業廃棄物が、自分の生活にいかに関接に関連しているか、産業廃棄物のリサイクル・減量化・無害化がいかに資源循環そして、地球温暖化防止に重要なのか。廃棄物処理が、安定的な生活の確保及び社会の安定維持に不可欠なものかということが理解してもらえような表現を御検討いただければと思います。	○ 御意見を踏まえ、副読本の改定に当たり、産業廃棄物に係る記載内容の充実を図ってまいります。	高橋委員	生活環境総務課 産業廃棄物課